

LEDシーリングライト

型番 CEK-8DLPKH / CEK-12DLPKH

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

必ず2人で取り付けてください。

安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意 誤った取り扱いをすると、人けがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

 禁止	改造や、部品交換をしない 落下・感電・火災などの原因になります。
	調光器を使用しない 破損・発煙の原因になります。 
	可燃物で覆わない 可燃物をかぶせたり、近づけたりしない 火災の原因になります。
	取り付けできない天井・配線器具に取り付けない P2「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けないでください。落下・感電・火災などの原因になります。
	取り付けは確実に行う 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に取り付けてください。
 必ず実施	異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
	交流100Vで使用する 火災・感電のおそれがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。
	清掃・取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る 感電の原因になります。
	適正温度で使用する 環境温度が5°C~35°Cの範囲で使用してください。 火災・故障の原因になります。
	1年に1回は自主点検を実施する 長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、P7「安全チェックシート」を参照し、定期点検を実施してください。 設置後8~10年経つと、自然に内部劣化が進みます。 ※参考使用条件：周囲温度30°C、1日10時間点灯、 年間3,000時間点灯した場合。 (JIS C8105-1解説による)

ご使用についてのお願い

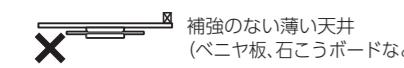
- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。
同時に切り替わらない場合があります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。
他のリモコンを使用する機器（テレビなど）には使用できません。
- 本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井の材質によっては、天井面が変色・変形することがあります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらがでることがあります。

- LED光源にはばらつきがあるため、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せぬごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。
- 充電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹き出し口近くへの設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターで録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。長期間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- 調色によっては全光束、消費電力、固有エネルギー消費効率が変わることがあります。

取り付けできない天井・配線器具

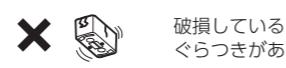
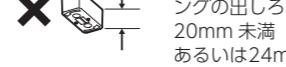
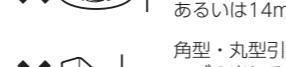
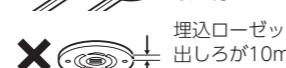
次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



次のような配線器具には取り付けない

火災・感電・落によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事店に依頼してください。(配線器具の交換は資格が必要です。)



各部の名称

●組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることをお確かめください。 ●表記以外の部品は梱包材です。

配線器具
(付属していません)

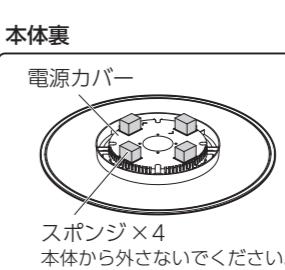
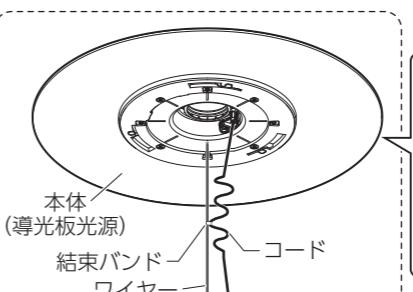
アダプター
(付属品)

アダプター側
コネクター

下面光源裏

本体
(導光板光源)

結束バンド
ワイヤー



●ご注意ください
・本体と下面光源は、ワイヤーとコードでつながっています。
無理に引っ張ったりしないでください。
・結束バンドは切らないでください。

リモコン関連付属品

●リモコン×1台 ●単4形アルカリ乾電池×2本



●リモコンホルダー×1個



取り付けかた



●取り付けは、必ず電源を遮断してから行ってください。

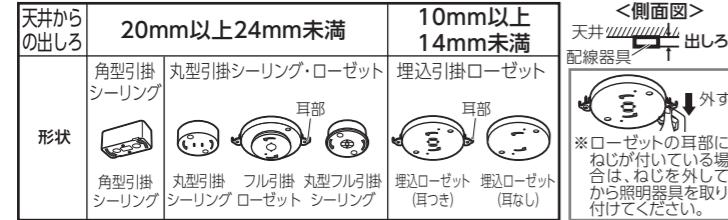


●高所での作業になります。
必ず足元の安全を確保してから行ってください。

1. 天井についている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法と形状を確認する

※ 下図以外の配線器具、または配線器具がなく配線だけの場合は取り付けができません。電気店、または工事店に工事を依頼してください。

※ 資格のない方の工事は法律で禁止されています。



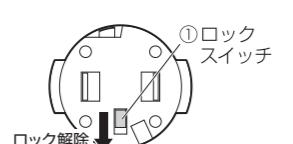
2. 下面光源を取り外す

下面光源の外周部を持って、反時計回りに回して本体から取り外してください。



3. アダプターを取り付ける

①アダプターのロックスイッチのロックを解除する。



②配線器具のかん合穴にアダプターの引掛け金具を差し込む。



③アダプターを右に「カチッ」と音が鳴るまで回す。



④アダプターを取り付けた後、取り外しボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認する。



アダプターは確実に取り付けてください。
落下するおそれがあります。

4. 本体(導光板光源)の保護シールをはがす

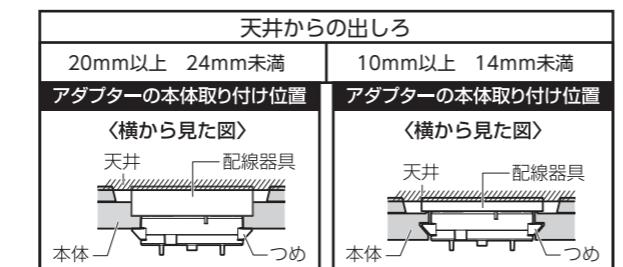
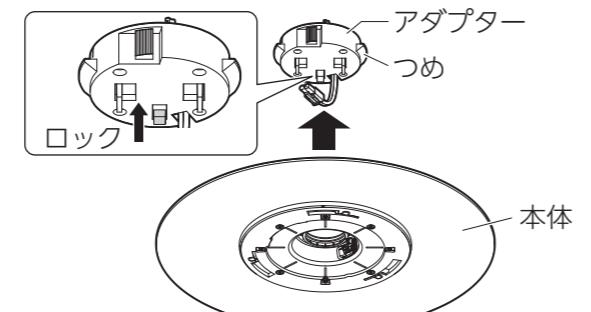
※導光板光源は指紋が付きやすいので、直接導光板光源に触れないようご注意ください。



5. 本体を取り付ける

①本体中心部からコネクターを通し、アダプターのつめが「カチッ」と音がするまで本体を押し上げる。

②ロックスイッチをロックする。



6. コネクターを接続する

本体側コネクターにアダプター側コネクターを差し込む。

※つめが下になるように差し込んでください。

※コードは外に出ないように内側に収めてください。



※本体が下図の状態の場合は正しく取り付けられていないため、もう一度確認してください。



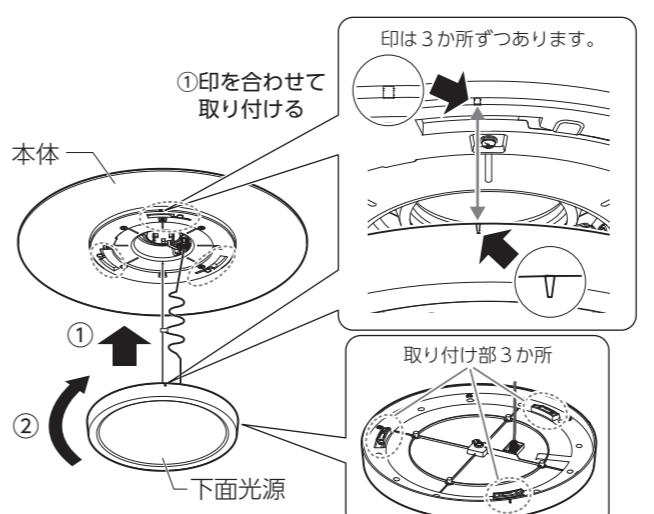
7. 下面光源を取り付ける

①下面光源の印と本体の印を合わせ、下面光源の取り付け部を本体に差し込む。

※ワイヤーとコードは本体内側に収納してから取り付けてください。

※ワイヤーとコードをつないでいる結束バンドは切らないでください。

②下面光源を時計回りに止まるまで回して確実に取り付ける。

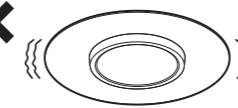


●警告 下面光源は回転が止まるまで確実に回して取り付けてください。落下によるけがのおそれがあります。

●注意 下面光源を必要以上に回転させないでください。
引掛シーリングやローゼットも回転し、破損や断線の原因になります。

照明器具がぐらついていたり、傾いたりしているときは正しく取り付けられていません。

※取り付け後、使用したときに異常が見られたときは、壁スイッチを切り、もう一度照明器具を外して、取り付け直してください。



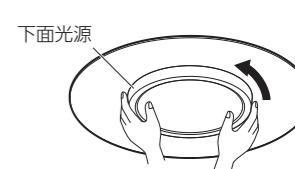
取り外しかた



●取り外しは必ず電源を遮断してください。
●消灯直後は照明器具が高温になっています。
確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

1. 下面光源を取り外す

本体を手で支えながら下面光源の外周部を持って、反時計回りに回して本体から取り外してください。



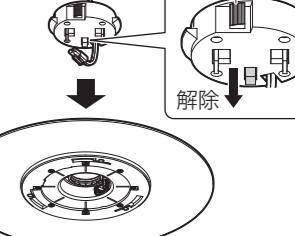
2. コネクターを外す

アダプター側コネクターのつめを押しながら、本体側コネクターから引いて外してください。



3. 本体を外す

本体を支え、アダプターのロックスイッチのロックを解除後、取り外しボタンを押しながら本体を取り外してください。



4. アダプターを外す

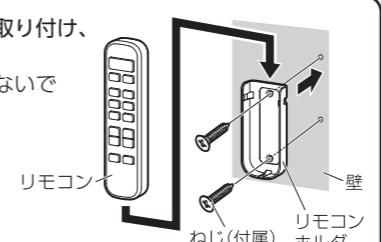
アダプター側面の取り外しボタン(赤いボタン)を押しながら、アダプターを左に回して取り外してください。



リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。

※収納した状態で操作しないでください。



乾電池の入れかた

①カバーのつめを押しながら、矢印の方向に持ち上げる
②表示に合わせて \oplus/\ominus の向きを間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める



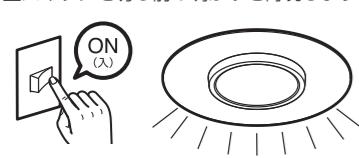
●乾電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用したときで約1年です。
付属の乾電池は動作確認用であり、上記よりも早く消耗することがあります。
●乾電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
●新旧・異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。
●長期間使用しないときは、乾電池を取り出して保管してください。

明かりをつける

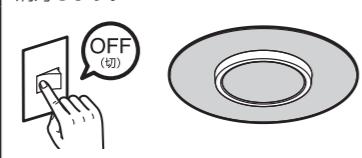
壁スイッチで操作する

■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチON：点灯（ラスト点灯）
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。

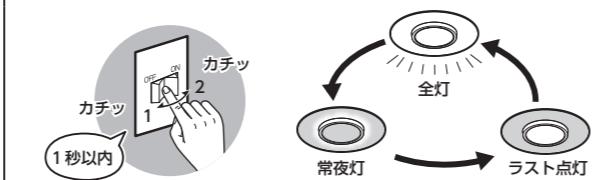


壁スイッチOFF：消灯
消灯します。



■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチをONにした状態で、短く（1秒以内）スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。



壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを短く（1秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。

リモコンで操作する

1. 壁スイッチを「ON」にする
2. リモコンを操作する



詳細は
WEBへ



シーンを切り替える

読書
白黒のコントラストが分かりやすいため、文字が読みやすい昼光色6500K相当の光を使用。直接光・間接光を最大で明るく照らします。
(明るさの初期設定：導光板光源・下面光源ともに100%)

食事
食事がおいしく見える暖かな温白色3500Kの直接光と、空間が広く感じるよう白色4000K相当の間接光で天井を照らします。
(明るさの初期設定：導光板光源100%・下面光源80%)

■オリジナルシーンの設定
お客様自身で、各シーンの明るさ・光の色をお好みで調節できます。
(調節範囲：明るさは10%～100%、光の色は電球色3000K～昼光色6500Kで調節可能)

①明かりのシーンをそのままに、明かり・光の色を調節する
光りかたはそのままに若干の調節ができます。調光ボタンで明るさ、調色ボタンで光の色を調節します。
変更後はその状態が記憶されます。

②光源を別々に調節する
光源選択ボタンを使用してください。選択された光源に対して調光ボタンで明るさ、調色ボタンで光の色を調節します。変更後はその状態が記憶されます。
※シアターモードの調節は導光板光源のみ可能です。下面光源は点灯しないのでご注意ください。

くつろぎ
明るさを抑えた暖かな電球色3000K相当の下面光源でうっすらと照らし、夕暮れの空をイメージする電球色3000Kの間接光で天井を照らします。
(明るさの初期設定：導光板光源50%・下面光源20%)

シアター
映画鑑賞に適した間接光、温白色3500Kで天井のみをうっすらと照らし、落ち着いた空間を演出します。
(明るさの初期設定：導光板光源のみ40%)

■シーン設定を初期化したい場合は
下記手順で操作してください。

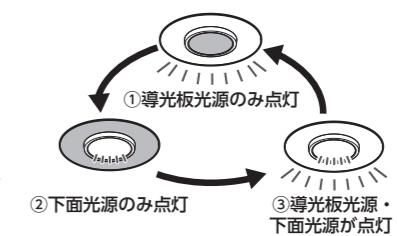
各シーンボタン+メモリを5秒間同時に押してください。
押し続けると、「♪ピピピ」と音が鳴り、初期設定の明るさで点灯します。
例：読書+メモリを5秒間同時に押す

光源を切り替える

明るさや光の色を変える光源の切り替えを行います。
光源選択ボタンを押すごとに①～③の順番で切り替わります。

- ①導光板光源のみ
- ②下面光源のみ
- ③導光板光源・下面光源両方

各段階で調光・調色の設定を変更した場合、設定は記憶され引き継がれます。
※シアターモードで光源を切り替える場合、下面光源は点灯しません。



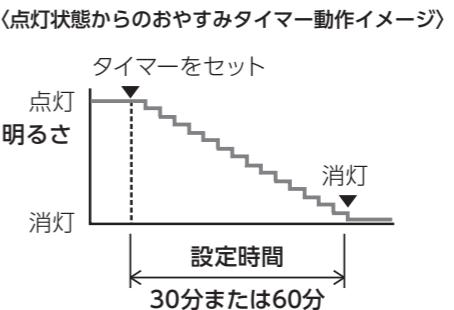
おやすみタイマーを使う

おやすみタイマー設定

「おやすみ」を押す回数で設定状態が変わります。
「♪音」で設定状態をお知らせします。

- 1回押す→「♪ピッ」→タイマー30分
- 2回押す→「♪ピピピッ」→タイマー60分
- 3回押す→「♪ピーッ」→タイマー解除

※操作は、最初の「♪ピッ」音が鳴ってから5秒以内に行ってください。



おやすみタイマー解除

設定と同様に、続けて3回、「おやすみ」を押してください。
おやすみボタン以外（留守番ボタンは除く）を押しても、おやすみタイマーは解除されます。

ご注意ください

壁スイッチをOFFにしたり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。
おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯させるにはリモコンで点灯させるか、壁スイッチを短く（1秒以内）操作して点灯状態を切り替えて点灯させてください。

留守番モードを使う

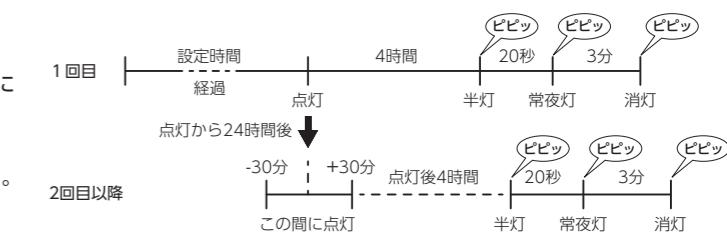
毎日繰り返し、ほぼ24時間ごとに1回全灯し、約4時間後に消灯します。

期間を決めて動作させることはできません。

2回目以降の点灯時刻は、最初に設定した時刻の前後約30分の間でランダムに変わります。

※半灯とは、現在点灯している明るさの約半分の消費電力の明るさです。

ただし、現在最小で点灯しているときの半灯は、最小点灯のままであります。



留守番モード設定

留守番モード解除

- ①留守番を押す
→「♪ピッ」と音が鳴り、留守番モードを設定する状態になります。

- ②明るくを押す
留守番モードで点灯させるまでの時間（1時間単位：1～24時間まで）と同じ回数押してください。押し過ぎたときは、暗くを押して戻すか、最初から設定をやり直してください。

※留守番ボタン以外のボタン（調光ボタン、常夜灯ボタンなど）を押しても、「♪ピピピ」と音が鳴って、留守番モードは解除されます。

- ③留守番を押して設定完了
→「♪ピーッ」と音が鳴った後に、設定時間を押した回数「♪ピッ」と鳴り、設定をお知らせします。

- ④留守番を長押しする
→「♪ピピピ」と音が鳴って留守番モードが解除されます。

※壁スイッチをOFFにしたり、停電したりすると、留守番モードは解除されます。
※留守番モードが解除されると、設定時間もリセットされます。

ご注意ください

メモリ一点灯中やラスト点灯中に留守番モードによる点灯時刻になった場合、全灯には変わらず、そのままの状態で点灯を続けます。製品の仕様上、長期間留守番モードを使うと、点灯・消灯時間が大きくなりますがあります。1週間ごとの再設定をおすすめします。留守番モードを設定するときは、1分以内に設定を完了（留守番ボタンをもう1回押す）しないと解除されます。この場合は、最初から設定をやり直してください。

無線機能について

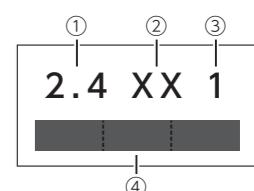
周波数について

本製品は2.4GHz帯の2.4000GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局・工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点や、その他お困りになったときは、アイリスオーヤマまでお問い合わせください。



- ①使用周波数帯域：2.4GHz帯
- ②変調方式：その他
- ③想定干渉距離：10m以下
- ④全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

仕様

型番	消費電力	器具光束	色温度	演色性	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ(約)	質量(約)
CEK-8DLPKH (8畳用)	全灯時 38.5W	4299lm (最大点灯時)	3000K ~ 6500K	Ra85	AC100V	50Hz/60Hz	0.4W	φ550×H60mm	2.5kg
CEK-12DLPKH (12畳用)	全灯時 44.5W	5499lm (最大点灯時)					0.5W		

・光束維持時間は40,000時間です。光束維持時間とは、全光束が70%に低下するまでの時間を推定したものです。表示は設計時間であり、製品の寿命を保証するものではありません。

・商品の仕様は予告なく変更する場合があります。

リモコン仕様

通信方式	使用周波数帯域	変調方式	出力	動作距離	登録可能台数
Bluetooth 5.0	2.4GHz	GFSK	class3 (0.5mW)	見通し距離約10m	最大5台まで※

※5台目以降は古い順にペアリングが解除されます。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状態	考えられる理由	処置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	リモコンが照明器具とペアリングされていない。	P7「照明器具とリモコンのペアリングおよびペアリング解除」を参照し、ペアリングを行ってください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
壁スイッチをONにしても点灯しない	照明器具が「消灯」状態になっている。	P4「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	ご使用にならないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
		P4「明かりをつける」を参照し、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。
1つのリモコンで複数の照明器具が同時に反応する	リモコンが複数の照明器具にペアリングされている可能性があります。	使用しない器具に対してペアリング解除を行ってください。 →P7「照明器具とリモコンのペアリングおよびペアリング解除」を参照
明かりが繰り返し変化する	工場出荷時の試験点灯モードになっている。	消灯状態で、「消灯」+「おやすみ」+「光源選択」の3つのボタンを同時に5秒長押しすると、「♪ピピー」と音が鳴って試験点灯モードが解除されます。
調色すると暗く感じる	光の色合いによって、最大の明るさは異なります。全灯時を100%とすると、電球色、昼光色へ最も調色した時は最大値が約60%の明るさとなりますが故障ではありません。	

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。



●必ず壁スイッチをOFF(切)にするか、電源を遮断してください。感電の原因になります。
●消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃してください。

次のは使用しない



絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災・感電・故障の原因になります。

- 水で薄めた中性洗剤に、やわらかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る
- 汚れが落ちたことを確認後、洗剤分を拭き取る
水に浸してかたく絞った布で完全に拭き取ってください。
- 仕上げに乾いたやわらかい布で、水分を完全に拭き取る



照明器具とリモコンのペアリングおよびペアリング解除

リモコンはペアリング済みの状態で出荷されます。

不良等で新しく取り寄せた交換用のリモコンを使用する場合は下記の操作を行ってください。

■ペアリング

壁スイッチをオンにした直後、約5秒以内に **[留守番] + [メモリ]** を5秒同時押しすると、「♪ピピピッ」と音が鳴ってライトが1回点滅し、ペアリングが完了します。

ペアリングは、リモコンと照明器具を10m以内で、その間に障害物がない状態で行ってください。

※一度ペアリングが完了すれば、その接続が解除されない限り本操作は不要です。

■ペアリング解除

点灯状態で、**[点灯・全灯] + [食事] + [留守番] + [メモリ]** を5秒同時押しすると、「♪ピピー」と音が鳴ってペアリングが解除されます。

ペアリング解除は、リモコンと照明器具を10m以内で、その間に障害物がない状態で行ってください。

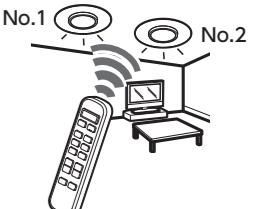
※通常解除する必要はありませんが、複数のリモコンをペアリングする場合、5台目以降は古い順にペアリングが解除されます。

複数の照明器具がある場合

●一つのリモコンで操作する

複数の照明器具に同じリモコンをペアリングすると、同時に操作することができます。

照明器具をペアリングする際は、他の照明の電源(壁スイッチ)をオフにした状態で、1台ずつペアリングを行ってください。



なお、時間が経過してからリモコンを操作する際、同時に点灯しない場合があります。
その場合は2台とも消灯状態にしてから再度操作をやり直してください。

次の場合、ペアリングができないことがあります。

- ・電池残量が少ないとき
- ・電波を発する機器の近くでペアリングするとき
- ・リモコンと照明器具が離れすぎているとき
- ・本体側の電源が入っていないとき

免責事項

留守番モードについて

留守番モード中は器具が自動で点灯・消灯しますので、留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。万一被害にあわれましても責任は一切負いかねます。

安全上の注意 1年に1回は自主点検を実施する

長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、定期点検を実施してください。

設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。

※参考使用条件：周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)



愛情点検

安全チェックシート(家庭用照明)

●下欄の安全点検項目について点検し、該当する場合は点検結果に✓印を記入し、処置手順にしたがってください。

安全点検項目	点検結果				処理手順
	点検年月	/	/	/	
1.スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。					✓印がある場合は危険な状態になっています。事故防止のためすぐに使用を中止し、新しい器具にお取り替えください。
2.引掛シーリングなどの配線部品や本体を動かすと点滅する。					
3.引掛シーリングなどの配線部品が異常に熱い。					
4.こげくさい臭いがする。					
5.点灯時にブレーカーが動作することがある。					
6.引掛シーリングなどの配線部品に傷み、ひび割れ、または変形がある。					
7.購入後、10年以上経過している。					
2.点灯するまで時間がかかる。					✓印がある場合は危険な状態になっています。事故防止のためすぐに使用を中止し、新しい器具にお取り替え、または継続的に点検してください。
3.本体(導光板光源)、下面光源などに変色、変形、ひび割れなどがある。					
4.塗装面にふくれやひび割れがある、もしくはさびが出ている。					
5.器具取付部に変形、がたつき、ゆるみなどがある。					
6.極端に明るさが低下している。					
7.ちらつきが頻繁に生じる。					

チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

上記点検項目以外でも不具合があれば、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

LEDシーリングライト 型番 CEK-8DLPKH / CEK-12DLPKH

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日	保証期間 リモコン・付属品：1年（電池などの消耗品は保証の対象外）	お買い上げ日より：本体5年
お客様	お名前 ご住所 〒 電話 () -	住所・店名 ※販売店 電話 () -

販売店様へ：※印欄は必ず記入してお渡しください。

お客様へ：レシートまたはご購入を証明するものは、本保証書と一緒に大切に保管してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障および損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理にかぎります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障および損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障および損傷
 - ④ 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障および損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについては、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（上記）に記載されています。24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間にについて

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パートのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関する
お問い合わせ
(通話料無料) **0120-311-564**
9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関する
お問い合わせ
(通話料無料) **0800-170-7070**
9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

309683

30725-CKJ-QIU-01